

所属	総合政策学部	身分	教授
氏名	松野 良一		
NAME	Ryoichi MATSUNO		

1. 研究課題

(和文) メディア表現活動と能力開発の関係性に関する研究

(英文) Research on the relationship of media expression activities and development of potential ability

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度)

(和文)

<背景と目的>

人材の能力を開発するために、様々な方法が試みられているが、メディアを使った表現活動との関係で立証実験を行ったものはほとんどない。本研究は、放送用の番組を制作するというメディア表現活動を行うことで、大学生のどのような能力が開発され向上するのかを検証することを目的として設定した。

<方法>

- ①福井県において小学生による番組制作講座を開催。講座前後で、児童の能力がどのように開発されたのかについて質的分析を使って解明を試みた。
- ②大学生が地元ケーブルテレビ向け番組を制作し、その前後で、どのような能力が開発されたかを質的分析を使って解明を試みた。

<成果>

地域において映像制作活動を行うことにより、小学生児童においても大学生においても、複数の能力が開発されることがわかった。特に、①積極性と精神力、②制作者の視点、③物事を客観的、批判的に読み解く能力、④集団作業を円滑に進める能力が飛躍的に向上することがわかった。

(英文)

What abilities does the video production activity develop? We tried to research in this question by using qualitative research method. This results showed that the ability developed by video production activity had five-factor-structure; Aggressiveness and willpower, Producer's Eye, Communication Skill, Ability to read things objectively and critically and Ability to proceed the group work smoothly.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

【学術論文】 （著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）
松野良一「映像制作活動は多様な能力を開発する」『視聴覚教育』, 772, pp.4-5, 2012年2月
松野良一「小学生による映像制作と能力開発の関係性・若狭高浜子ども放送局の事例を中心として」
『総合政策研究』、(20)pp.37-48, 2012年3月
松野良一「メディア表現で社会人基礎力を養う」『調査情報』(503), pp76-79, 2011年11月
【学会発表】 （発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）
松野良一「僕達はなぜ戦争を記録するのか～多摩の戦跡を追って」地域メディア研究会、八王子市、2012年8月
松野良一「メディアリテラシー～テレビの情報を正しく判断する力を学ぶ」地域メディア研究会、八王子市、2012年12月
【図 書】 （著者名、出版社名、書名、刊行年）
松野良一、田研出版、『映像制作で人間力を育てるーメディアリテラシーをこえてー』、2013年3月
【その他】 （知的財産権、ニュースリリース等） 研究関連のみ
2013年01月 東京ビデオフェスティバル2013で、ドキュメンタリー2作品が、優秀賞と佳作を受賞。
2012年8月 日本ユニセフ主催（文部科学省後援）「One Minute Video コンテスト」で優秀賞を受賞、世界大会（オランダ）へ
2011年11月 「地方の時代」映像祭(NHK、民放連など主催)で、映像作品「硫黄島から戻ったイチョウ」が優秀賞を受賞。
2011年06月 FLP松野良一ゼミが制作している「多摩探検隊」が「iTunes U」で配信開始。
2011年05月 研究室の活動が、総務省「メディアリテラシー関連活動事例」として紹介される。